

世界史B 14 ローマ(3)

・A.D.79年ヴェスヴィオス山噴火⇒溶岩流でナポリ近郊の()1が埋まる。
五賢帝の時代 (A.D.96~180) 最大の領土。平和の維持。

・有力者を()2として後継させる。

1,ネルヴァ帝(位96~98) 元老院が任命。

2,[]3帝(位98~117) ローマ帝国最大()4

┌スペイン出身。初の属州出身の皇帝。

└ナイル川から紅海へ至る()5建設。



ハドリアヌスの長城

3,[]6帝(位117~138) パルティアと講和。

ブリタニアに「ハドリアヌスの()7」建設。

4,アントニヌス・ピウス帝(位138~161年) 和平策を継続。

5,マルクス=アウレリウス=[]8帝(位161~180)

┌「哲人皇帝」と呼ばれる。

└海路、絹を求めて中国の[]9に使者を送る⇒「大秦国王()10」

→アウグストゥス帝から五賢帝の時代→「パックス・ロマーナ(ローマの平和)」 約200年間。

次のコンモドゥス帝はアントニヌスの実子。不安定化。暗殺など。

ローマ市民権---212年、カラカラ帝(位198~217年)の時、国内の全()11民に付与。

()12皇帝時代 (A.D.193~284)

・軍人、軍団によって皇帝が()13される。元老院は無力化。

・235年から284年の50年間に26人の皇帝が交代。→[]14人を除きすべて暗殺、変死。

・東方の()15朝ペルシャ☆、北方の()16人の侵入激化する。

☆⇒226年パルティアを滅ぼし建国。アルデシール1世(位226~241)。

→260年のエデッサの戦いでローマは敗北。皇帝ヴァレリアヌス(位253~260) は捕虜に。

ローマ帝政の混乱期⇒「3世紀の危機」

5,専制君主政 = 「()17政」(284年~)

・ディオクレティアヌス帝(位284~305)

┌「()18統治」

293年 帝国を正帝(アウグストゥス)・副帝(カエサル)夫々二名の皇帝による四分割統治とする。

└自身は東方正帝となり、オリエン特的専制君主政を採用。

└[]19教徒を弾圧。ペルシャ風拝跪礼と皇帝()20を要求。

・コンスタンティヌス帝(位306~西方副帝~312~西方正帝~324~全ローマ皇帝~337)

┌313年()21勅令 信教の自由を認め、キリスト教などを公認。

└324年 東西を再統一し、世襲制・中央集権・4道、13州、117県とする。

└325年()22公会議---アタナシウス派を正統とする。

└()23金貨を発行、金貨を基本通貨とする。中央軍(野戦部隊)を創設。

└330年 首都をビザンティウム=[]24に移す。

└332年「コロヌスの土地定着強制法」

→小作農(コロヌス)による生産=()25制」が進展。

・[]26帝(位361~363)

┌ギリシャ・ヘレニズム文化の尊重と調和を志向。

└ユダヤ教徒にイエルサレムの神殿再建を許可。

└()27復興---キリスト教優遇を改め、「異端」とされていたものに恩赦。

⇒キリスト教会から「()28ユリアヌス」と呼ばれる。

・375年 ゲルマン人の大移動開始⇒アジア系()29族の西欧への侵入による。

6,ローマの東西分裂

・[]30帝(位379~395)

┌380年()31説を信仰しないものを「異端」とする。テッサロニキ勅令。

└392年 キリスト教を()32とする。他の宗教を禁ずる。

└帝国を二分⇒彼の死後395年からローマ帝国は東西に分裂。

・西ローマ---ゲルマン人将軍により皇帝の廃立くり返す。

・476年 ゲルマン人傭兵隊長オドアケルにより滅亡。皇帝廃位。自らはイタリアの王となる。ゲルマン諸国分立。

・東ローマ---「()33帝国」⇒1453年オスマン・トルコにより滅亡。

7,ローマ文化

┌実用的分野に優れる。文学・芸術---ギリシャの模倣

└広大な地域に()34語、ローマ字を普及させる⇒古典文化を保存

[宗教] ・多神教---外来の神々を取り入れる

・帝政期---東方起源の()35教、マニ教、キリスト教が流行

[文学] ・カエサル「ガリア戦記」

・ヴェルギリウス(B.C.70~19)「()36」(ローマ建国叙事詩)

・ホラティウス(B.C.65~8)、オウィディウス(B.C.43~A.D.17)の叙情詩

[歴史書] ・リヴィウス(B.C.64~12)「ローマ建国史」

・タキトゥス(A.D..56~120)「年代記」「ゲルマニア」

・プルタルコス(A.D.46ころ~120以降)「()37」=「英雄伝」

[自然科学] ・ストラボン(B.C.64/3~A.D.21)「地誌」 ・プリニウス(A.D.23~79)「博物誌」

・プトレマイオス(2世紀) 世界地図と「天文学大全」=()38説

[哲学・思想]

・()39(B.C.106~43) 共和政期の政治家、哲学者。「国家論」「義務について」など

・()40(B.C.5/4~A.D.65)ストア派哲学者、政治家、詩人。「善行について」など

・エピクテトス(A.D.55~135) ギリシャのストア派哲学者。

・マルクス=アウレリウス 「自省録」

[法] ・「()41大全」 6世紀、トリボニアヌス(?~542/5)らによる

[ローマ建築] ・()42=闘技場、パンテオン、カラカラ浴場や各地の水道橋、道路



コンスタンティヌス



ローマ帝国領土



コロッセウム



ポン・デュ・ガール

- ・国教 ・平和 ・崇拜 ・版図 ・長城 ・廃立 ・運河 ・養子 ・安敦 ・四分 ・自由
- ・異教 ・軍人 ・天動 ・背教者 ・フン ・キケロ ・セネカ ・ミラノ ・ササン
- ・ミトラ ・ラテン ・ローマ法 ・対比列伝 ・三位一体 ・ゲルマン ・ビザンツ ・ニケーア
- ・ポンペイ ・ソリドゥス ・コロッセウム ・アエネーイス ・コロナトゥス ・ドミナートゥス